

ミネ校長から **チーム萱中の愛する生徒のキミたちへ!**

萱中プライド

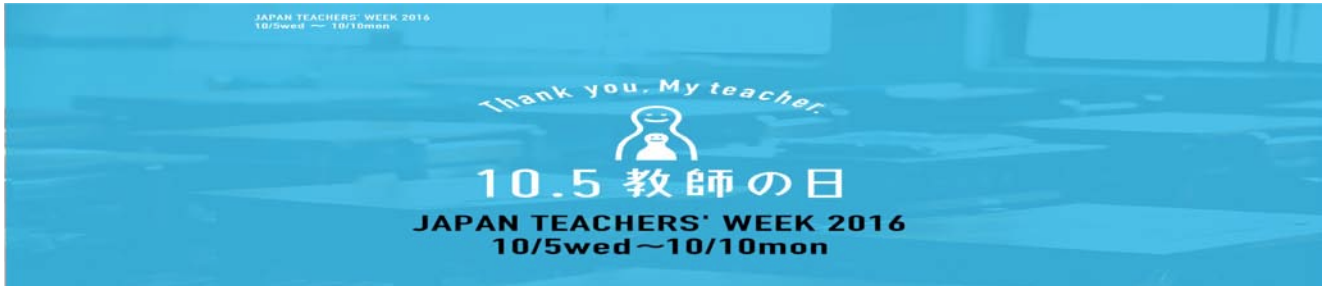
全生徒・職員が**一丸**となり、
どんなことにも**あきらめずに**
頑張り続ける**魂!**

萱中スタイル

いつでも、どんなことにでも
本気になって頑張る人が
カッコいいを貫く**姿勢!**

萱中スタンダード

“やれでやる”より**“やるでやる”**
の**精神**で、何事にも**主体性**を
持って取り組む**態度!**



「先生、ありがとう」を日本中に。

あなたにとって、先生とはどんな存在ですか？

日々、生徒と向き合う「先生」という職業は、「**子どもたちの未来をつくる仕事**」でもあります。だから先生とは、**子どもたちやこの国の未来にだって影響を与える、尊くて、カッコいい職業であるはず**です。しかし、そんな先生たちの置かれている環境が今、時代の変化を起因とする職務の多様化や勤務時間の増加等により、多忙化の傾向にあります。

私はチーム萱中の校長として、**10月5日「教師の日」**を生徒の皆さんに提案することで、**毎日、朝から晩まで『全ては、子どもたちの（笑顔の）ために…!』**を基調に**尽力される先生たちにスポットライトをあて、キミたちのために頑張って下さる先生たちに感謝を伝える日（場）になることを強く祈念、期待しています。**

日本の先生たちの置かれている環境がいま、大きく変化しています。国際的に行われた調査*では、日本の教師の勤務時間は調査国中でなんと1位！各国の平均勤務時間を大きく上回っており教育現場からも、年々増加傾向にあるという声が聞こえています。多岐にわたる事務作業の他に、放課後の課外活動の指導など授業以外に費やす時間が増えてしまっているのが現状です。

一読を…

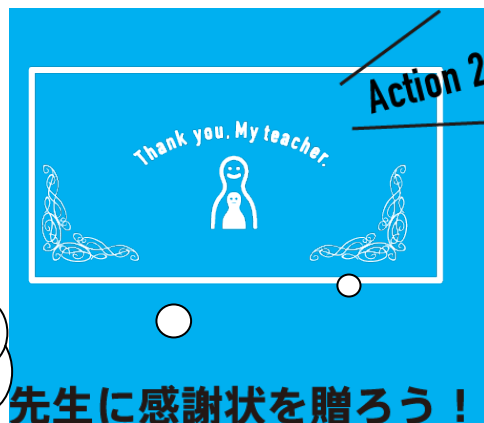
私は、チーム萱中を含め、日本の先生たちを応援するために、世界では広くスタンダードとなっている「教師の日」を是非とも創り、広め（ウェブ）、継承していきたくて期待しています。日本ではあまり知られていませんが、**1994年に、UNESCO（国際連合教育科学文化機関）が10月5日を「教師の日」に制定しています。**普段お世話になっている教師に、感謝の気持ちを伝えるこの文化は世界中で浸透しており、各国それぞれの「教師の日」に合わせてイベントも盛んに行われています。

大人たちは、かつてお世話になった恩師に…。子どもたちは、日頃自分と向き合ってくれる先生に…。大人も子どもも一緒になって、日本中の先生に「**ありがとう**」。先生たちが自分の職業に誇りをもって、「**また明日からも頑張ろう！**」と思える日と一緒につくっていきませんか？

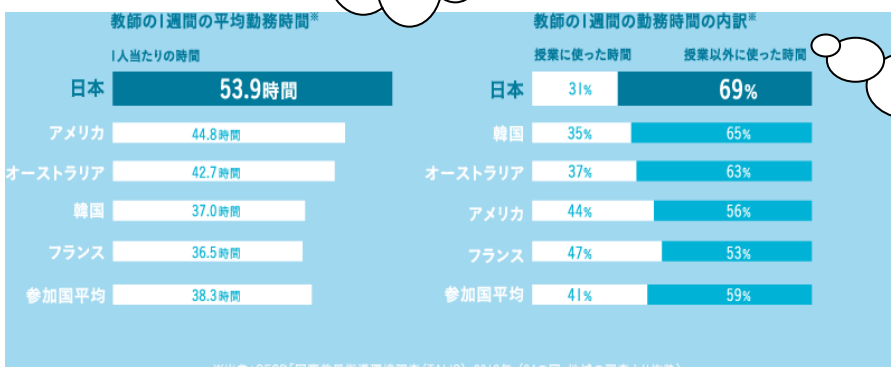
チーム萱中に、先生を応援する「教師の日」を広め、実践しよう！



気持ちが大事だよ！



日々お世話になっているけれど、なかなか言えない”ありがとう”。かつてお世話になった恩師に、あの頃言えなかった〇“ありがとう”。今年の「教師の日」をきっかけにして、手紙で、声で、あなたも先生、恩師に感謝の言葉を伝えませんか？



でも、萱中の先生方は全員、『教師という職業に誇りを持ち、やり甲斐のある、素敵な仕事』だと感じて、日々、頑張ってますヨ！